

ルーブリックを活用した
形成的評価とジャーナル作成授業
-主体的・対話的で深い学びの実現に向けて-

大阪府立東百舌鳥高等学校 稲川孝司

清教学園中・高等学校 勝田浩次

広島大学附属福山中・高等学校 平田篤史

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

※高校教育については、些末な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

主体的・対話的で深い学びの実現 （「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について（イメージ）

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすること

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

【例】

- 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- 「キャリア・パスポート（仮称）」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする



主体的な学び
対話的な学び

深い学び

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成



【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

【例】

- 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広げる
- あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る



【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

【例】

- 事象の中から自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通じて集団としての考えを形成したりしていく
- 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく

学習評価

学校における教育活動に関し、
子供たちの学習状況を
評価するもの

中央教育審議会答申（2016）

学習評価

子供たちの学習の成果を的確に捉え、**教員が**指導の改善を図るとともに、**子供たち自身が**自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるようにする

中央教育審議会答申（2016）

教員のための学習評価



生徒のための学習評価

主体的・対話的で深い学び

「思考力・判断力・表現力」のように、
「見えにくい力」も含め、その実現を
目指して、学びの過程や成果を可視化
していく工夫をしていくのが「評価」

松下ら（2016）

総括的評価 ⇒ 形成的評価

ポートフォリオ

自分がどのようなことについて努力しているか、
どこがどのように成長したか、
何を達成したか、
などについて証拠となるものを、
目的、目標、規準と基準に照らして、
系統的・継続的に収集したもの

田中(2016)

ポートフォリオ

学びのポートフォリオ：形成的評価

本時の学習内容

学んだことを記述

今日の学習内容：		月	日()	限
学んだこと				
.....				
.....				
考えたこと	フィードバック	自ら積極的に学び、成長した様子がよく伝わってきます		
		自分の考えを具体的に理由を述べて書くことができます		
		どうしてそう考えたのか、もっと詳しく教えてください		
		何を学んだのか、もっと詳しく教えてください		

考えたことを記述

教員による毎時のフィードバック

ルーブリック

成功の度合いを示す数レベル程度の尺度と、
それぞれのレベルに対応するパフォーマンス
の特徴を示した記述語（評価規準）
からなる評価基準表

文部科学省(2015)

ポートフォリオのルーブリック

観点	規準	S	A	B	C
学習への取り組み (関心・意欲・態度)	テーマについて、具体的に内容の記述があるなど、前向きに学習に取り組んだ様子が伝わってくる。	テーマについて、新しい発見、気づいたことなどを具体的に記述している。また、自ら積極的に興味を持ってさらに深く学ぼうとする様子が伝わってくる。	テーマについて、具体的に内容の記述があるなど、前向きに学習に取り組んだ様子が伝わってくる。	テーマについて、内容が記載されており、取り組んだ様子が分かる。	テーマについての記述が少なく、何に取り組んだかが分からない。

学びのポートフォリオ

年 組 番 名前：

今日の学習内容： 月 日 () 限		
学んだこと		
考えたこと	フ イ ド バ ッ ク	自ら積極的に学び、成長した様子がよく伝わってきます 自分の考えを具体的に理由を述べて書くことができます どうしてそう考えたのか、もっと詳しく教えてください 何を学んだのか、もっと詳しく教えてください
今日の学習内容： 月 日 () 限		
学んだこと		
考えたこと	フ イ ド バ ッ ク	自ら積極的に学び、成長した様子がよく伝わってきます 自分の考えを具体的に理由を述べて書くことができます どうしてそう考えたのか、もっと詳しく教えてください 何を学んだのか、もっと詳しく教えてください
今日の学習内容： 月 日 () 限		
学んだこと		
考えたこと	フ イ ド バ ッ ク	自ら積極的に学び、成長した様子がよく伝わってきます 自分の考えを具体的に理由を述べて書くことができます どうしてそう考えたのか、もっと詳しく教えてください 何を学んだのか、もっと詳しく教えてください

今日の学習内容： 月 日 () 限		
学んだこと		
考えたこと	フ イ ド バ ッ ク	自ら積極的に学び、成長した様子がよく伝わってきます 自分の考えを具体的に理由を述べて書くことができます どうしてそう考えたのか、もっと詳しく教えてください 何を学んだのか、もっと詳しく教えてください
今日の学習内容： 月 日 () 限		
学んだこと		
考えたこと	フ イ ド バ ッ ク	自ら積極的に学び、成長した様子がよく伝わってきます 自分の考えを具体的に理由を述べて書くことができます どうしてそう考えたのか、もっと詳しく教えてください 何を学んだのか、もっと詳しく教えてください
今日の学習内容： 月 日 () 限		
学んだこと		
考えたこと	フ イ ド バ ッ ク	自ら積極的に学び、成長した様子がよく伝わってきます 自分の考えを具体的に理由を述べて書くことができます どうしてそう考えたのか、もっと詳しく教えてください 何を学んだのか、もっと詳しく教えてください


観点	規準	S	A	B	C
学習への取り組み (関心・意欲・態度)	テーマについて、具体的に内容の記述があるなど、前向きに学習に取り組んだ様子が伝わってくる	テーマについて、新しい発見、気づいたことなどを具体的に記述している。また、自ら積極的に興味を持ってさらに深く学ぼうとする様子が伝わってくる	テーマについて、具体的に内容の記述があるなど、前向きに学習に取り組んだ様子が伝わってくる	テーマについて、内容が記載されており、取り組んだ様子が分かる	テーマについての記述が薄く、何に取り組んだのかが分からない

学びのポートフォリオの配布プリント

年間指導計画

第1学年		1 学期				2 学期					3 学期		
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
情報 の 科学	2 単 位	情報 モ ラ ル (8時間)	GIF ア ニ メ (9時間)	プレゼン (10時間)		ア ル ゴ リ ズ ム (8時間)	二 進 法 (2時 間)	デ ー タ 分 析 (13時間)					

単元「『私のオススメ』プレゼンテーション」

授業回	学習活動	形成的評価 (学びのポートフォリオ)	総括的評価 (ショートジャーナル)
第1回	イメージマップによるテーマ探し		
第2回	テーマの決定とプレゼンの構想	プレゼンのテーマ決定と内容の構想について	
第3回	プレゼンソフトの操作練習とプレゼン原稿シートの作成	スライド作りについて	
第4回	スライドの作成①	文字のフォント、画像の引用と著作権について	
第5回	スライドの作成②	色のユニバーサルデザインについて	
第6回	グループ内での中間発表	発表して気づいたことについて	
第7回	プレゼン全体の改善	受けたアドバイスと改善した点について	
第8回	クラス全体への最終発表・相互評価①		
第9回	クラス全体への最終発表・相互評価②	最終発表と相互評価について	
第10回	単元を通じた学習活動の振り返り		

単元（プレゼンテーション）のルーブリック

	評価項目	S	A	B	C
観 点 ①	オススメするものについての主張	ポイントがしっかりとあり、主張が首尾一貫している。さらにオススメするものについての具体的な提案がある	オススメするものについてポイントがしっかりとあり、主張が首尾一貫している	オススメしたいテーマに沿って伝えている	主張が最初と最後で変わってしまっており、オススメしたいものが何か分からない
観 点 ②	聴きやすさ (声・体の向き)	声の大きさや体の向きに加えて、声の強弱をつけたり、視線を聴衆におけたりすることができている	発表の声が聴こえやすいように、声の大きさが適切であり、体を前に向けられている	みんなの前に立ち、話すことができている	声が聴こえなかったり、体が前を向けていなかったりする
観 点 ③	惹きつける発表内容	オススメするものについて、こちらがもっと知りたくなるくらい熱く語っている	恥ずかしさはなく、オススメするものについて熱く語っている	ところどころ自分の言葉で話をすることができている	ほとんどすべて、スライドやメモの方を見て発表している。オススメするものについて熱く語れていない

ジャーナル

その単元で学んだ内容に関して、
文章やイラストなどを用いて
様々な人にわかりやすく伝え、
自分の意見と参考文献も記載して
まとめたもの。

ジャーナルについてのルーブリック

観点	規準	S(超いいね❤️)	A(合格○)	B(あと一步🧠)	C(もう一度)
学習への取り組み (関心・意欲・態度)	テーマについて具体的に記述があり、学んだことが理由とともに示されている。前向きに学習に取り組んだ様子が伝わってくる。	テーマについて、新しい発見、気づいたことなどが具体的に記述されている。学んだことと実生活を関連づけて記述していたり、自ら興味を持ったことをさらに調べたりして、深く学ぼうとする様子が伝わってくる。	テーマについて具体的に記述があり、学んだことが理由とともに示されている。前向きに学習に取り組んだ様子が伝わってくる。	テーマの内容やその感想が記載されており、学習に取り組んだ様子が分かる。	テーマの内容についてのみ記述がある。
学習内容についての説明 (知識・理解) (思考・判断・表現)	学習した経験や内容を関連づけながら自分なりの言葉で説明することができる。	自らの疑問点やキーワードを設定し、ポイントを示しながら、資料集や教科書の内容と学習した内容を関連づけて説明することができる。	学習した経験や内容を関連づけながら自分なりの言葉で説明することができる。	学習した経験をもとに、内容を説明することができる。	学習した内容を記載している。

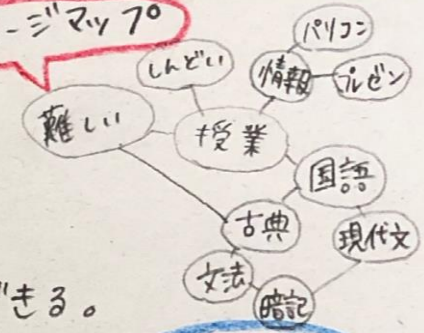
ジャーナルのルーブリック

観点	規準	S(超いいね❤️)
学習への取り組み	テーマについて具体的に記述があり、学んだことが理由とともに示されている。前向きに学習に取り組んだ様子が伝わってくる。	テーマについて、新しい発見、気づいたことなどが具体的に記述されている。学んだことと実生活を関連づけて記述していたり、自ら興味を持ったことをさらに調べたりして、深く学ぼうとする様子が伝わってくる。
学習内容についての説明	学習した経験や内容を関連づけながら自分なりの言葉で説明することができる。	自らの疑問点やキーワードを設定し、ポイントを示しながら、資料集や教科書の内容と学習した内容を関連づけて説明することができる。

プレゼンテーションを実施するまでの手順

作り方は?
どう発表すればいい?
見やすいスライドって?

IX-ジマッポ



○内容を決める

テーマとなるものを真ん中に書き、そこから連想するものできるだけ多く書き足していく
IX-ジマッポはアイデアや考えを広げることが出来る。

○内容が決まったら...

伝えたい具体的な内容や選んだ理由も書き出す。

○素材を集める

画像をとりうときは必ず URL をコピーする。

※著作権(創作的に表現したものを保護の対象とする権利)に配慮。

○スライド作り

①文字の大きさは?
小さすぎない!!

28ぐらいがベスト◎

②色は?
3色にまとめる!

背景と同系色はダメ!!

○話すときのポイント

余裕をもつ◎

聴き取りやすいゆっくりとした声で、またスライドをゆくるときも見やすいようにゆっくりめくる。前をみて発表。身振り手振りがあるとgood!!

拡大するときには
画像の角だけ
大きさを調整する!!

③書き方は?

アニメーションは?

書き方は簡潔書き!!

文章だと見にくくなる。

アニメーションは

必要最低限で使用する◎

シンプル is the best

Q. URL をコピーしたら長いのは?
A. その画像がサイトから消えているから。

10/29 代表者プレゼンをみて思ったこと

- ・画像が少ない!
- ・画像がなくても説得力が有。
- ・色がゴちゃゴちゃしてない!
- ・文字の色より背景に色を使ってる。
- ・今の機会の参考にしてみよう◎

参考にした教科書・資料集のページ、Web サイト、その他

教科書【資料 P5 ~ P10】 資料集 P49



自分の学び

(私のオススXのプレゼンテーション!!について)

1. まず自分の好きなことを書くポイントマップを作った。



そこから自分が一番伝えたいお笑いを選んだ。

2. みんなにお笑いについて知ってもらうために調べてる!!



3. 調べたことをレポートにまとめた!!

スシO-のすごさ



スシO-のせわい



お笑いする理由

→ ねえお笑い → まとめ

イラスト・画像などをはったりしてさうに相手に分かりやすくした☆😊みやみやくする為に字を大きくしたりした。

4. まとめレポートをつくる時に字んだこと!!

著作権 (保護される対象といると財産的権利を保護する)

複製権・上演権・上映権・展示権・公衆送信権

写真をはるときは必ずURLをつかいた!
URLとは著作権名や作品名など著作物を特定できるもの。

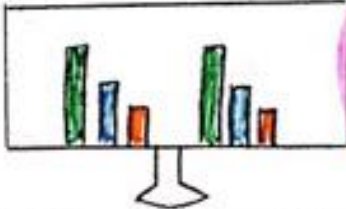
5. 発表



スシO-のすごさ

気を付けること
・話るときは声は声。
・お笑い前とむいて話す。
・お笑い紙と紙と読むはうにある

6. みんなの評価!!



コメントがあると嬉しい言葉できるのが良いと字んだ!!

パワーからみんなが自分にしてあげた評価を見ることができ自分もみんなにコメントを返れちゃう!!のやり方はお笑い!!

参考にした教科書・資料集のページ、Webサイト、その他

教科書 P84~87・資料の5~10

資料集 P46~49

学びのポートフォリオ

プレゼンテーションの技術

～相手に伝える～



この学びをそとに、知らない人にとっても何かに
やると、やりたい、ほしいなど興味を持たせる
プレゼンが本音だと気づきました!

相手に伝える極意

その1 構成

① テーマが明確

{ 1つのテーマにそって話が進んでいる
こと、独りよがりでも相手にわかる
こと、自分が伝えたいテーマを示す。 }

② 何が伝えたいかたがまとめる

{ 最後、一番伝えたいこと
をもう一度主張することで、印象
に残る。 }

③ 短く、明確に

{ 全体的に、興味と持たせようために
1つのテーマの根拠とつるものを短く、明確に }

相手に伝える極意

その2 話し方

① 問いかけ

{ 「～はわかりましたか。」 「～は知っていますか。」
などの問いかけは、「～はどうかですか。」
などの観望の問いかけを入れることで、
相手と一緒に考えられる、より意
味がある。 }

② ジェスチャー

③ 合本を見ない、自分の考えで話す

{ 合本で、プレゼンテーションの画面に
頼るのではなく、自分の考えを話したい
ことと、それを相手に伝える }

相手に伝える極意

その3 見やすさ

① 文字のサイズ

{ 一番後ろ、遠くからでも見えるサイズ
を確保しよう }

② 文字の色



参考にした教科書・資料集のページ、Webサイト、その他

教科書 [資料 5、10] , Google , 授業感想

学年プレゼンテーション大会の実施





銘記
昭和二十九年
三月二十一日
本校創立
五十周年
記念
式典
開催
式典
開催
式典
開催



まとめ1(生徒)

ループリックを
示すことで

生徒1「その日の授業で何を学んだのか、考えたのかを振り返れるので勉強になる。次の授業の時にも、前回何を学んだのかをすぐにわかるので良い。」

生徒2「自分が今日何についてよく考え話し合ったのか、というのが頭の中に残るから良い。また次の週の授業の目標を設定できるから良い。」

学習活動を内省し、次回
すべきことが再確認できている

学習の視覚化が
できている

まとめ2 (生徒)

ループリックを
示すことで

生徒3「これまでやってきた内容を振り返ることで、自分がどんなことをやってきたか、どんな方法で操作したりしたか、今回のことは生活上の何とつながっているかが分かる。」

学習内容を客観視し、
より深めようとしている

学習内容が
深まっている

まとめ3(教員)

ルーズブリックを
示すことで

- ・個々の生徒に何を指導すればよいか明確になった。
- ・授業の目標が明確なので、指導がしやすい。
- ・課題に込めた授業者の意図を生徒が理解することができた。
- ・実技での生徒の自己評価と教員の評価のずれが少なくなった。
- ・形成的評価として実施している学びのポートフォリオがショートジャーナル作成の材料として機能しており、単元の学習内容をメタ認知する機会となっていた。

現在の問題点

■ 評価に時間がかかる

特に形成的評価は日々の業務と並行して行うので、即時フィードバックが難しい場合がある。紙媒体からGoogleフォーム等への移行も考えられる。

■ ショートジャーナルは生徒同士による相互評価の機会を設けていない

そのため、他者の学びや視点を知ることは難しい。生徒同士の評価活動場所と作品に対する評価点を設けたい。

今後の課題

主体的対話的深い学びに向けて

深い学びとは？

どのように測定すれば良いか？

参考文献

- (1)中央教育審議会答申(2016)。「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」
- (2)文部科学省(2016)。「学習評価に関する資料」。総則・評価特別部会資料6-2
- (3)稲川ほか(2019)。「情報科でのルーブリックを活用した形成的評価とポートフォリオ・ジャーナル作成」。情報学教育研究2019第10号
- (4)勝田(2017)。「アクティブラーニングの評価に関する考察～情報科におけるポートフォリオ評価について～」。日本情報科教育学会第10回全国大会講演論文集
- (5)松下ほか(2016)。「アクティブラーニングの評価」。東信堂
- (6)田中(2016)。「よくわかる教育評価」。ミネルヴァ書房